

北海道古平町古平漁港 PR資料

【地域の概要】

○古平町は**積丹半島東側中央部**に位置し、余市町・積丹町などと山地を介して接している。

平成30年12月に後志道が延伸、余市ICが供用開始した影響で、**札幌から車で約1時間20分程度**でアクセスできるようになった。

○町内の一部は「**ニセコ積丹小樽海岸国定公園**」に指定されており、美しい景観に恵まれている。

○古平漁港は町内の北西に位置しており、町役場・**道の駅予定地（R7開業）**とも非常に近接している

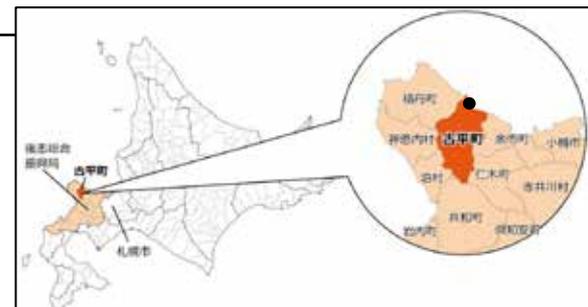
【漁業の概要】

○主な漁業種類は刺網（ホッケ、マダラ、カレイ、スケソ等）、さけ定置、大定置（ブリ）、かご漁業（エビ類・タコ類）、採貝（ウニ・ナマコ）である。

第3種古平漁港を利用する「東しゃこたん漁協」は、平成16年4月に積丹町の2漁協と古平町の1漁協が合併し誕生。古平漁港には本所が所在する。

ホッケ・ヤリイカ等の一部魚種を除き、漁協管内8漁港で陸揚げされた漁獲物は、**古平漁港産地市場に集約**し、値決め等が行われている。

近年、漁獲量が大幅に増加している**ブリの一部を「鰯宝」としてブランド化**し、北陸等の消費地に出荷。ブランド化の取組が軌道に乗り、魚価向上に大きく寄与している。



写真：ブランドブリ「鰯宝」

【観光の概要】

古平町の一部は「ニセコ積丹小樽海岸国定公園」に含まれ、景観に恵まれているほか、**遊漁が盛ん**な地域である。

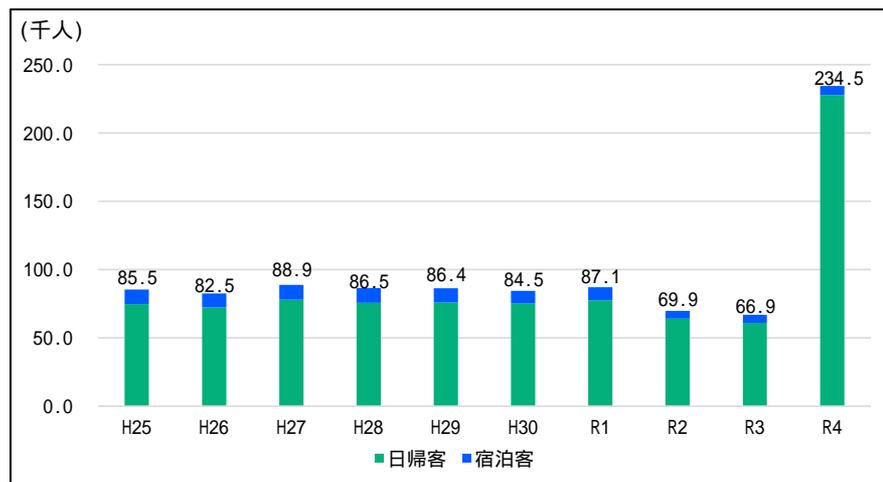
令和4年度には、年間約20万人の観光客が訪れている。

観光客入込数は、令和4年度に急増しているが、近隣の**積丹町・余市町の1/3以下**に留まる。
観光客の**95%以上**を道内客・日帰り客が占めている。

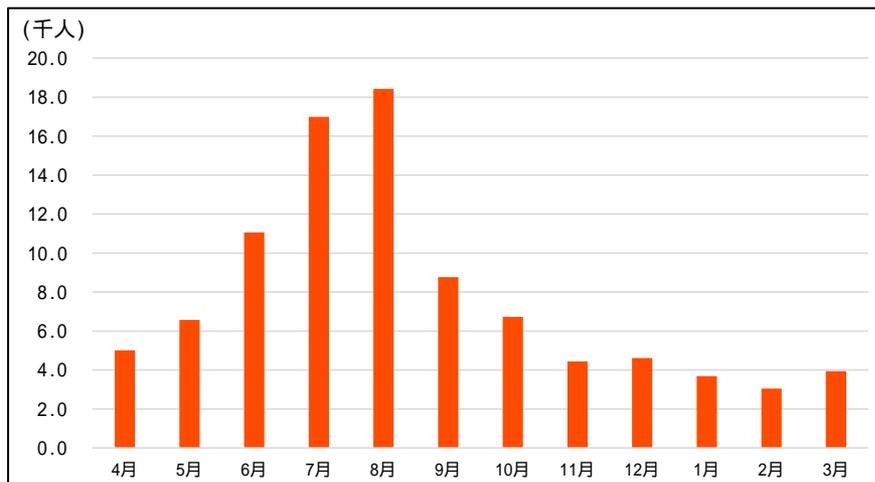
令和4年度の観光客数

単位：千人

区分	小樽市	積丹町	余市町	古平町
入込総数	4,065.0	774.4	761.3	234.5
道外客	2,087.5	107.6	292.1	5.3
道内客	1,977.5	666.8	469.2	229.2
日帰り客	3,324.0	763.1	738.8	227.9
宿泊客	741.0	11.3	22.5	6.6



古平町における年度別観光客入込数



古平町における年度別観光客入込数

【観光の概要（つづき）】

漁港内の漁協直売所では古平産の水産物を使用した商品を販売
直売所の駐車場等を活用し「漁協祭」を開催、古平産水産物の販売
令和7年度より、「道の駅ふるびら たらこミュージアム」が旧役場跡地にてオープン予定
→軽食の提供や農産物・水産加工品販売を予定
地域おこし協力隊により、民泊施設「じもっとFURUBIRA」の営業を開始



漁協直売所（古平町HPより）



漁協祭での販売状況（古平町HPより）



漁協祭での販売状況（古平町HPより）



道の駅イメージパス（古平町HPより）



民泊 じもっとFURUBIRA

[地域経済]

古平町で事業所数が多いのは卸売業・小売業で、特に従業者数が多いのは飲食料品小売業である。
古平町で従業者数が多いのは製造業で、特に従業者数が多いのは食料品製造業である。
卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業においても、特に飲食関係の事業所数、従業者数が多い。

古平町 産業別民営事業所数及び男女別従業者数（R3経済センサス）

産業中分類	事業所数	従業者数		
		男	女	
AR_全産業(S.公務を除く)	153	941	499	441
A_農業,林業	2	13	12	1
01_農業	2	13	12	1
02_林業	-	-	-	-
B_漁業	3	40	30	10
03_漁業(水産養殖業を除く)	3	40	30	10
04_水産養殖業	-	-	-	-
C_鉱業,採石業,砂利採取業	-	-	-	-
D_建設業	20	136	122	14
E_製造業	14	218	72	146
F_電気,ガス,熱供給,水道業	1	3	3	-
G_情報通信業	-	-	-	-
H_運輸業,郵便業	3	27	22	5
I_卸売業,小売業	34	127	59	68
J_金融業,保険業	2	10	5	5
K_不動産業,物品賃貸業	2	3	1	2
L_学術研究,専門・技術サービス業	-	-	-	-
M_宿泊業,飲食サービス業	15	47	13	34
N_生活関連サービス業,娯楽業	20	35	20	14
O_教育,学習支援業	1	1	-	1
P_医療,福祉	16	191	71	120
Q_複合サービス事業	2	8	6	2
R_サービス業(他に分類されないもの)	18	82	63	19

[特に従業者が多い事業所]

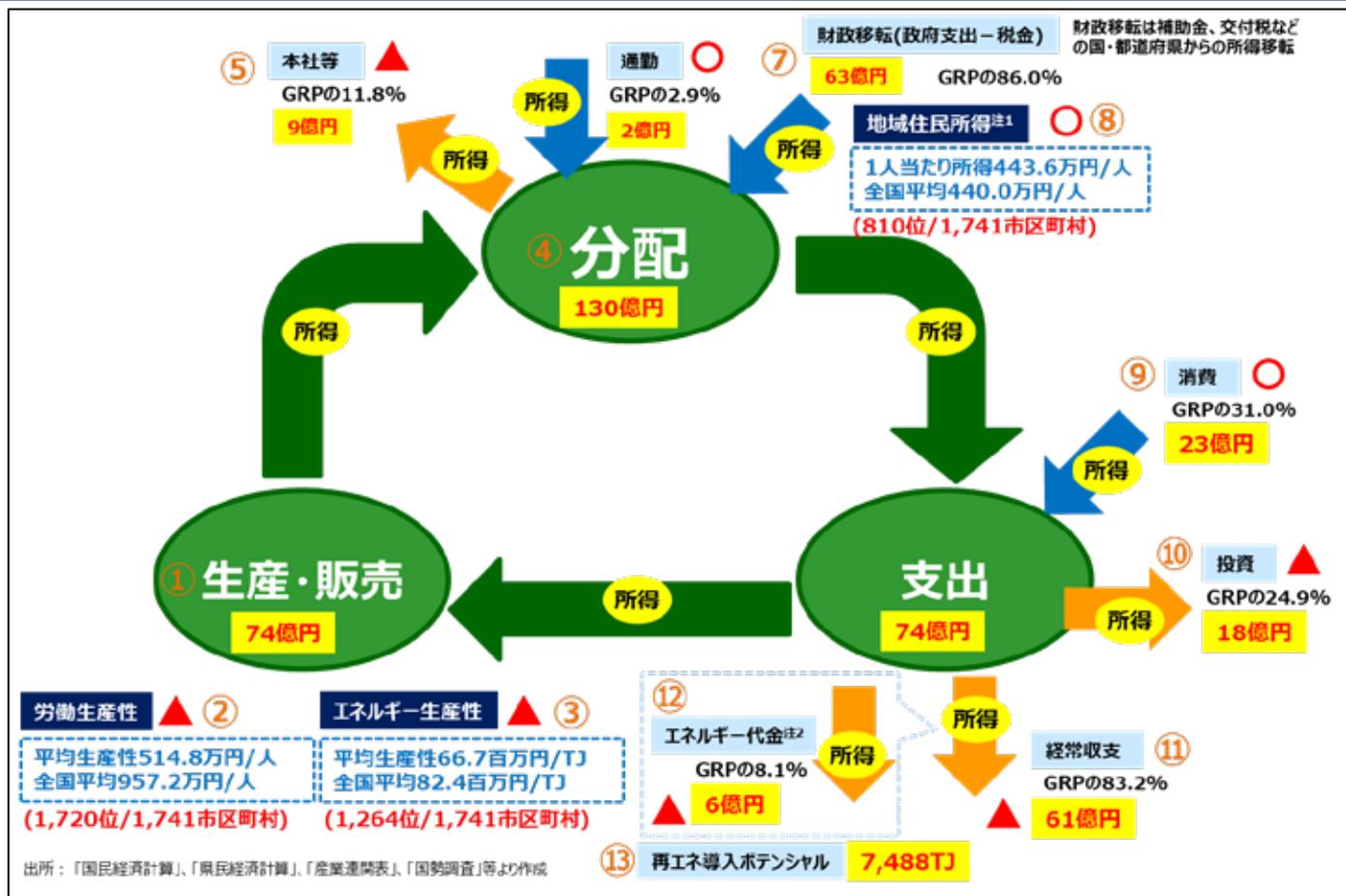
	事業所数	従業者数	男	女
09_食料品製造業	8	194	54	140

	事業所数	従業者数	男	女
58_飲食料品小売業	11	40	15	25

	事業所数	従業者数	男	女
76_飲食店	11	36	12	24

[地域経済]

古平町における所得循環構造を以下に示す。古平町では、労働生産性が514.8(万円/人)であり、全国平均よりも約442.4万円/人 低い値となっている。一方で、地域住民所得は全国平均を約2.7万円/人 上回っている。生産・販売で稼いだ所得が、地域の住民・企業に分配されるまでの過程で生じる所得の流出入においては、通勤による勤務地から居住地への所得流入、財政移転により所得が流入しており、分配(130億円)が生産・販売(74億円)を上回っている。また、住民・企業が得た所得を消費する際に生じる所得の流出入においては、買物や観光等で消費が23億円流入しているが、投資・経常収支では所得が流出している。



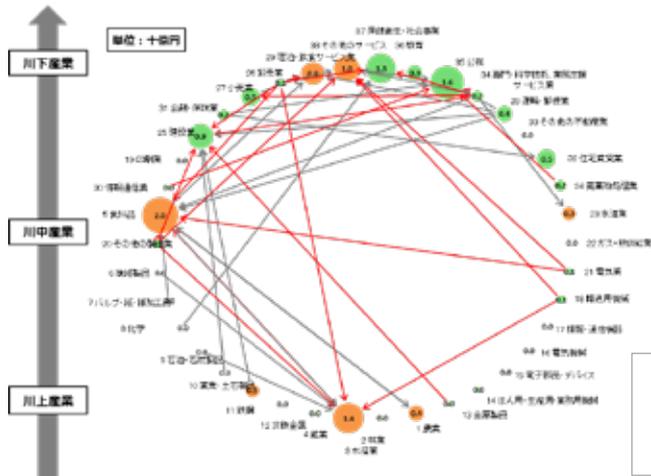
[地域経済]

古平町の水産業の場合、食料品と卸売業から調達を行っており、特に食料品産業との取引が地域の経済規模に占める割合が大きい。

水産業の純移輸出はプラスとなっており、地域内の需要を域内の生産で賄うことができている。

海業として、水産業、食料品、宿泊・飲食サービス業の展開可能性を検討する。

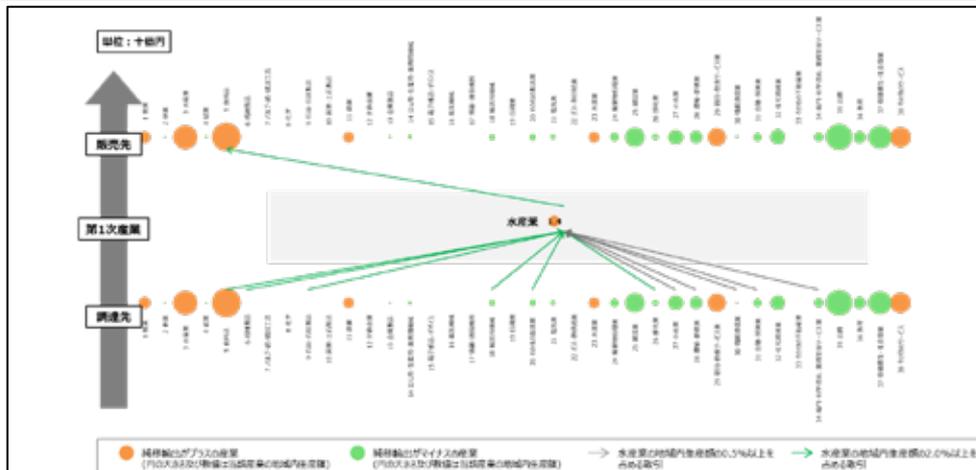
地域の主要な産業間取引構造



・水産業 食料品 宿泊・飲食サービス業と矢印が繋がっており、地域内で水産物を生産し、域内で加工し、地域内の飲食店などで提供するという基盤が構築されている。

- 純移輸出がプラスの産業 (円の大きさ及び数値は当該産業の地域内生産額)
- 純移輸出がマイナスの産業 (円の大きさ及び数値は当該産業の地域内生産額)
- 当該産業 (矢印始点) が他の産業 (矢印終点) に販売したモノ・サービスの総額が地域内生産額 (産業合計) の0.2%以上を占める取引
- 当該産業 (矢印始点) が他の産業 (矢印終点) に販売したモノ・サービスの総額が地域内生産額 (産業合計) の0.2%以上を占める、かつ当該産業の地域内生産額の30%以上を占める取引

「水産業」に着目した主要な取引構造

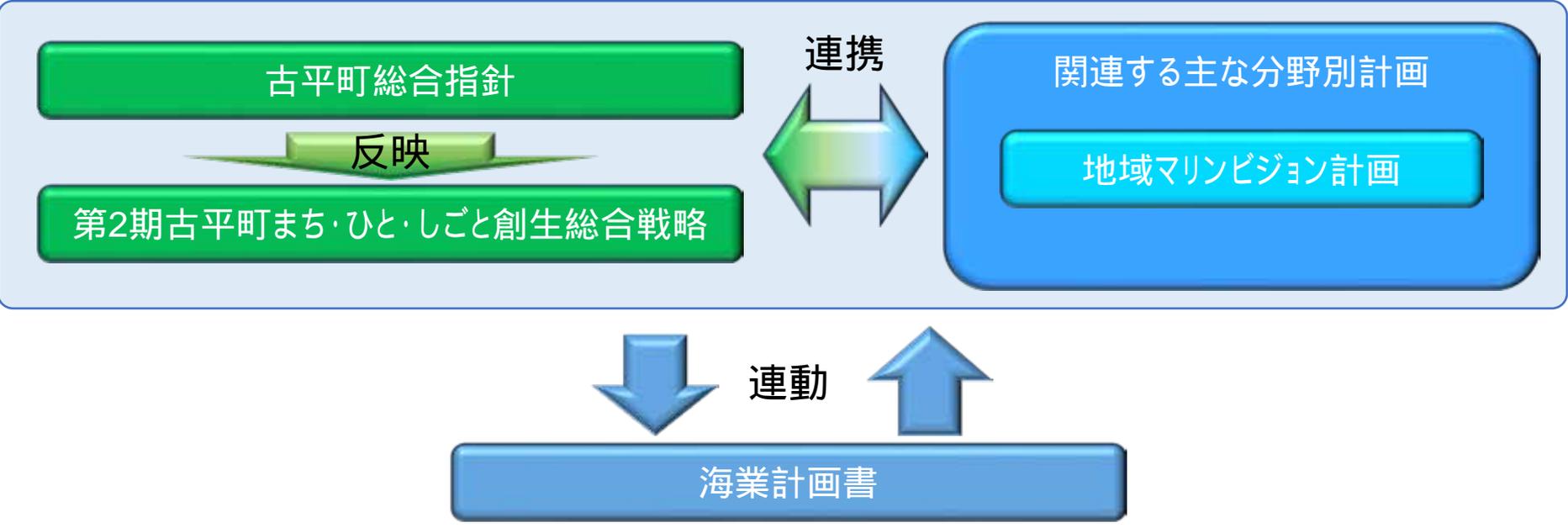


・「水産業」に着目した主要な取引構造に着目すると、古平町の水産業は生産額14億円である。また、食料品産業、宿泊・飲食サービス業からの調達が多く、また、食料品産業への販売が多く、それらの産業の純移輸出はプラスとなっている。

古平地区における海業計画書の位置づけ

上位計画である「古平町地域総合指針」では、古平町におけるまちづくりの主要課題として、漁業・水産加工業・商業など町内の産業間の連携を強化していくこと、多様な消費ニーズに対応するため新製品の開発による付加価値向上や販路拡大を図り経営の安定化をめざすこと、また本町の強みである海産物や水産加工品など食の魅力の核として周遊客を中心に観光消費の獲得を図っていくことを挙げている。

本計画は、上記の課題解決に向けて、海業の具体的な取り組み推進を図るものである。



海業の事業計画骨子【北海道古平町 古平漁港】

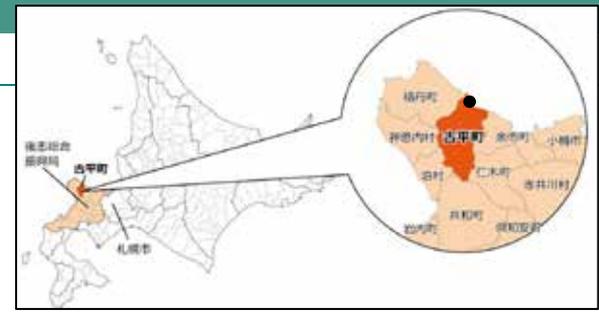
1. 現状と課題

【地域・水産業の現状と課題】

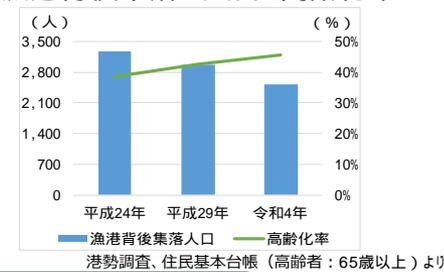
- 古平町は積丹半島東側中央部に位置し、余市町・積丹町などと山地を介して接している。
- 平成10年頃より漁獲量の減少しており、太宗魚種であったサケやスケトウダラ等の漁獲量が大幅に減少する一方で、近年ブリの漁獲量が大幅に増加している。
- 漁業者の高齢化等に伴い担い手不足が進行しており、漁業所得の向上が課題となっている。

【観光業・海業の現状と課題】

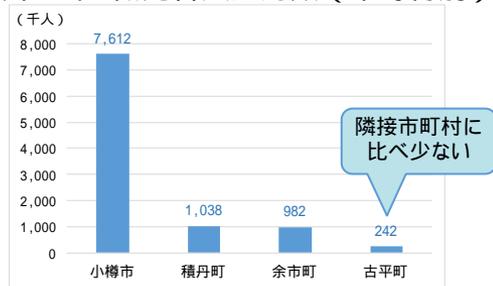
- 道内有数の観光地である「積丹町」や「余市町」に挟まれた立地ながら、古平町を訪れる観光客は、その1/3以下に留まる。素通りされる町から滞在したい町への転換が課題である。
- 令和7年度には漁港近隣の旧役場跡地にて道の駅が開業予定であり、漁港周辺への来訪者増加が期待される。



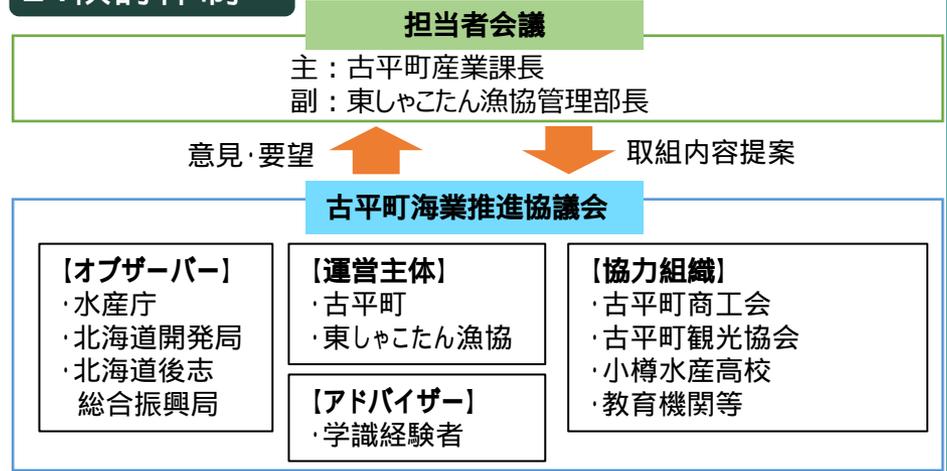
漁港背後集落の人口と高齢化率



令和5年 観光客入込総数（市町村別）



2. 検討体制



海業の事業計画骨子【北海道古平町 古平漁港】

3. 海業の方針

- ・地元水産物の付加価値化・ブランド化、新たな特産品開発を行い、「道の駅」や漁協祭等での消費拡大・PR活動。
 - ・素通りされる町から滞在したい町への転換を行い、水産業を核とした地域再生を図る。
- 【取組】 水産物のブランド化・特産品開発「古平ブランドの強化」 道の駅、町内イベントでの水産物販売
 漁港を核とした教育学習の推進 観光プログラムの推進（遊・泊）

4. 海業の具体的な取組・実施主体・期待される効果

短期

水産物のブランド化・特産品開発（古平ブランドの強化）

[具体的な取組内容]

a.水産物ブランド化、主要消費地への出荷による知名度向上、新たな特産品開発による古平ブランドの強化・PR【漁協】

道の駅、町内外イベントでの水産物販売

[具体的な取組内容]

c.道の駅・町内飲食店等での特産品提供【古平町】
 d.町内イベントでの特産品PR【漁協・商工会・観光協会・古平町】

[期待される効果]

- 魚価向上による漁業所得の向上
- 域内での水産物消費拡大
- 「古平」産水産物の知名度向上
- 漁港の交流人口増加

中・長期

漁港を核とした教育学習の推進

[具体的な取組内容]

e.漁港会館を使用した研修【教育委員会】

[期待される効果]

- 地元児童の水産業への理解・愛着の醸成
- 将来的な水産業の担い手育成
- 水産業と教育機関の連携強化

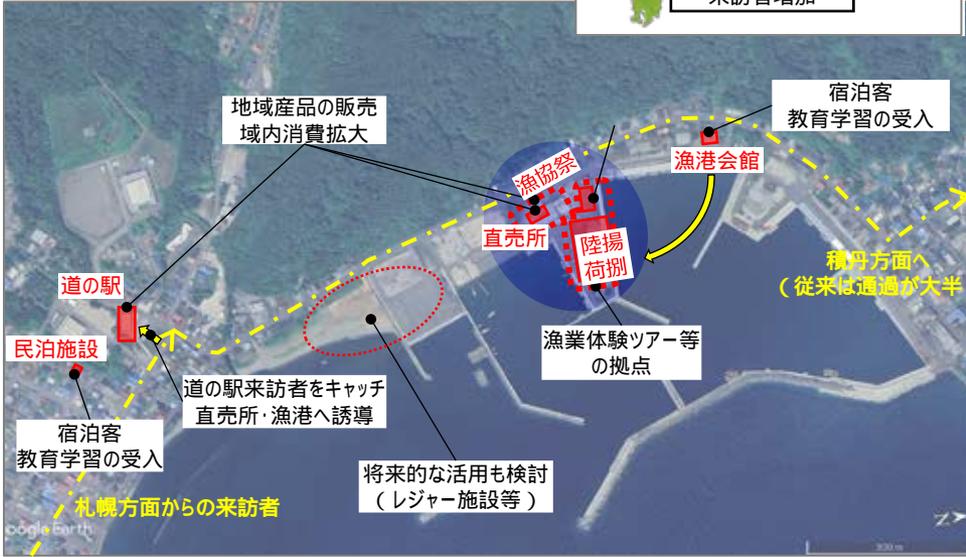
観光プログラムの推進

[具体的な取組内容]

g. 宿泊を伴う漁業ツアー・荷揚げ見学ツアー、味覚ツアー等の実施【漁協・商工会・観光協会・古平町・民間】

[期待される効果]

- 漁港周辺の賑わい創出
- 観光地としての魅力の増大
- 地域産業の活性化
- 漁業者の漁業以外の収入源の確保



事業計画書 記載項目

策定者		
協議会メンバー		
対象地域と対象漁港		
地区の概要	地区の現状	地区の概要、産業構造と人口の推移、漁業の概要、観光の概要等
	上位・関連計画	上位・関連計画との関係、位置づけ
	地域の課題	上記を踏まえて地域の課題を整理
海業の概要	海業の目的	目的（ミッション）、地区が目指す将来像
	実施する事業	実施する事業、事業主体、実施時期等
	地域資源や魅力の活用	活用する地域資源や魅力、事業での活用方針、域内調達
	漁港ストックの活用方針	漁港ストック、およびその活用方針
	事業の効果	地元水産業の発展に寄与する内容、地域に与える効果
実施する各事業の ビジネスモデル	ビジネスモデル	何を、誰に、どのように提供するか、価格帯、見込客数等
各事業の実施項目と実施主体、活用したい支援事業等		
体制、人員計画、関係者の役割分担		
実施に向けた手続き・調整事項	手続き	各事業の実施に向けた具体的な手続き
	調整事項	今後必要となる調整事項の整理
財務計画	資金の検討、収益の検討	
実施にむけたタイムスケジュール案（これまでのまとめ）		

各事業の概要

水産物のブランド化・特産品開発

事業の概要：

ブリ等のブランド化、主要消費地への出荷を行う。加えて、地域水産物を活用した地域産品の開発により、古平ブランドの強化・PRを図る。

■事業主体：

東しゃこたん漁業協同組合

■実施時期：令和7～10年頃に事業開始予定(短期)

■取扱商品、サービスの内容と価格：

ブランドブリ「鰯宝」の生産。地元水産物を用いた加工品の生産。

■取扱商品、サービスのセールスポイント：

- ・鰯宝：船上活じめ、重さ7kg以上、体脂肪率15%以上の厳選された鰯
- ・漁港で水揚げされた新鮮な水産物を使用し、鮮度抜群の状態での加工

販売ターゲット、見込客数、販売戦略：

ターゲット：都市部消費地（知名度向上のため）、観光客

見込客数：－

販売戦略：道の駅、町内イベント、直売所での販売やPR

■競合・市場など企業を取り巻く状況：

道内産ブランドブリは他産地との競合がみられるため、特徴的な取り組み（胃の内容物処理）を取り入れPRを図る。

道の駅、町内外イベントでの水産物販売

事業の概要：

開業予定の道の駅、町内イベントにおいて、地域水産物の販売を行う。

■事業主体：

古平町(道の駅、町内イベント)、東しゃこたん漁業協同組合(漁協祭、その他の町内イベント)、古平町商工会(町内イベント)、古平町観光協会(町内外イベント)

■実施時期：道の駅開業後、順次検討

■取扱商品、サービスの内容と価格：

鮮魚・加工品販売、焼き立てのタコ等の販売、購入した魚介類をその場で焼いて食べられるコーナー等。

■取扱商品、サービスのセールスポイント：

地元産の新鮮な魚介類の購入。一部のイベントでは、その場で食べることができる。

販売ターゲット、見込客数、販売戦略：

ターゲット：町外からの観光客、町民、釣り愛好家、ファミリー層、インバウンド旅行者

見込客数：道の駅の来場者、イベント3,300人(過年度漁協祭の実績値より)

販売戦略：消費地での「古平産」水産物販売によるPR・知名度向上。道の駅と漁港内イベントの連携。

■競合・市場など企業を取り巻く状況：－

各事業の概要

教育学習

事業の概要：

漁港内施設を活用し、学生を対象とした研修を実施する。

■事業主体：

古平町教育委員会、小樽水産高校

■実施時期：令和7年～町内の学生から開始（長期）

■取扱商品、サービスの内容と価格：

漁業の見学・体験、漁港内施設を利用した宿泊。

取扱商品、サービスのセールスポイント

水産業の様々な活動をより身近な視点で体感できる。

販売ターゲット、見込客数、販売戦略

ターゲット：町内・町外の小中高生(町内から取り組み開始)

見込客数：町内小中学生100名程度、段階的に町外へ展開（学校等の団体をターゲットとする）

販売戦略：宿泊施設と連携により、町外からも受け入れ、早朝の漁業活用を見学可能。

■競合・市場など企業を取り巻く状況：-

観光プログラム

事業の概要：

宿泊を伴う漁業ツアー・荷揚げ見学ツアー、味覚ツアー等を実施する。

■事業主体：

古平町、東しゃこたん漁業協同組合、古平町商工会、古平町観光協会

■実施時期：令和7年～検討開始、順次実施予定（長期）

■取扱商品、サービスの内容と価格：

漁港での水揚げ・セリ等の見学、地元飲食店での魚の捌き方講座・食事のツアー。

取扱商品、サービスのセールスポイント

水産業の様々な活動をより身近な視点で体感できる。新鮮な水産物を実際に食べることができる。

販売ターゲット、見込客数、販売戦略

ターゲット：町外からの観光客(魚・水産業に興味のある人)

見込客数：15人/回×年3回=45人程度

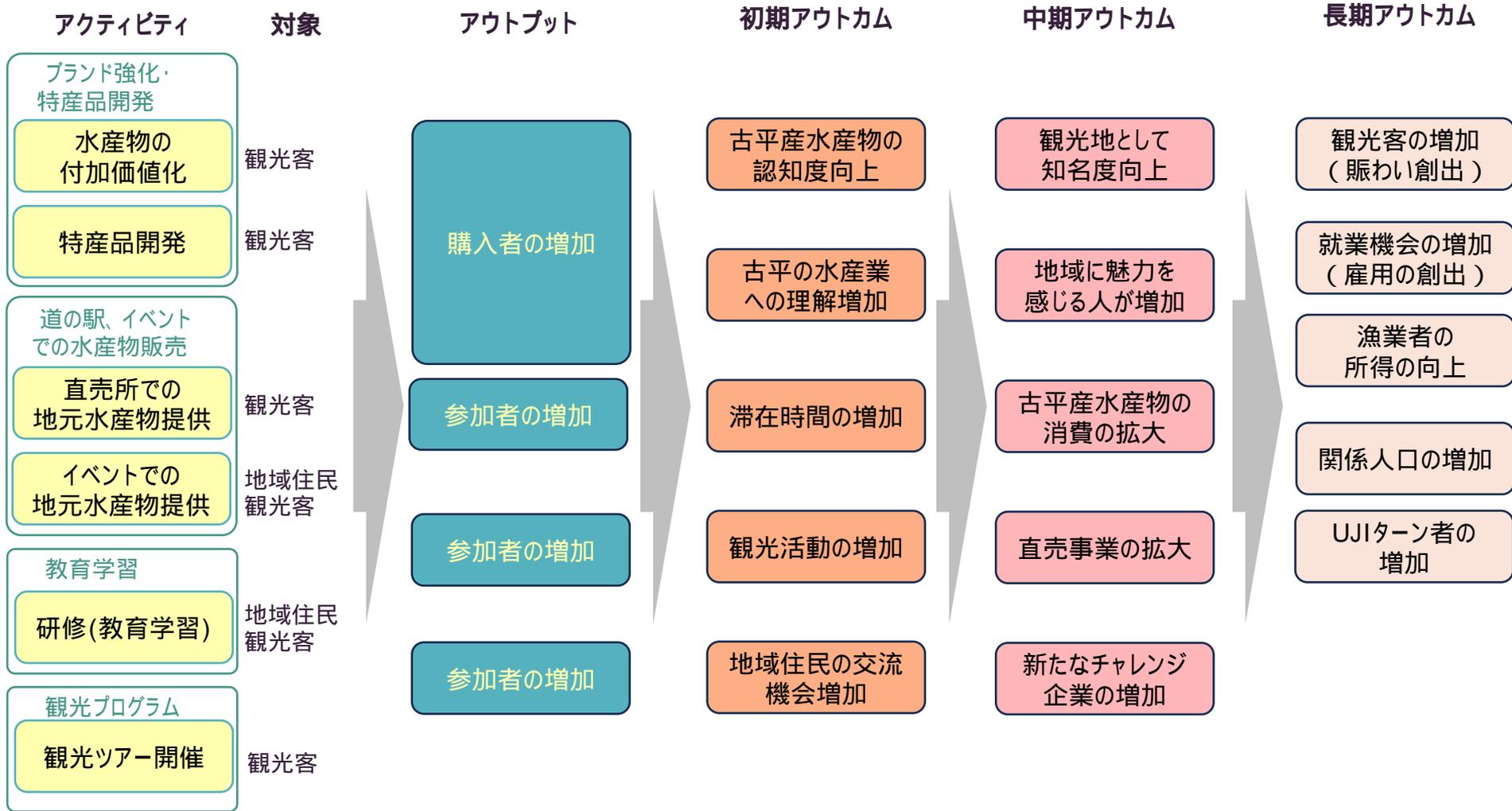
販売戦略：宿泊施設と連携により、町外からも受け入れ、早朝の漁業活用を見学可能。

■競合・市場など企業を取り巻く状況：-

事業の効果例

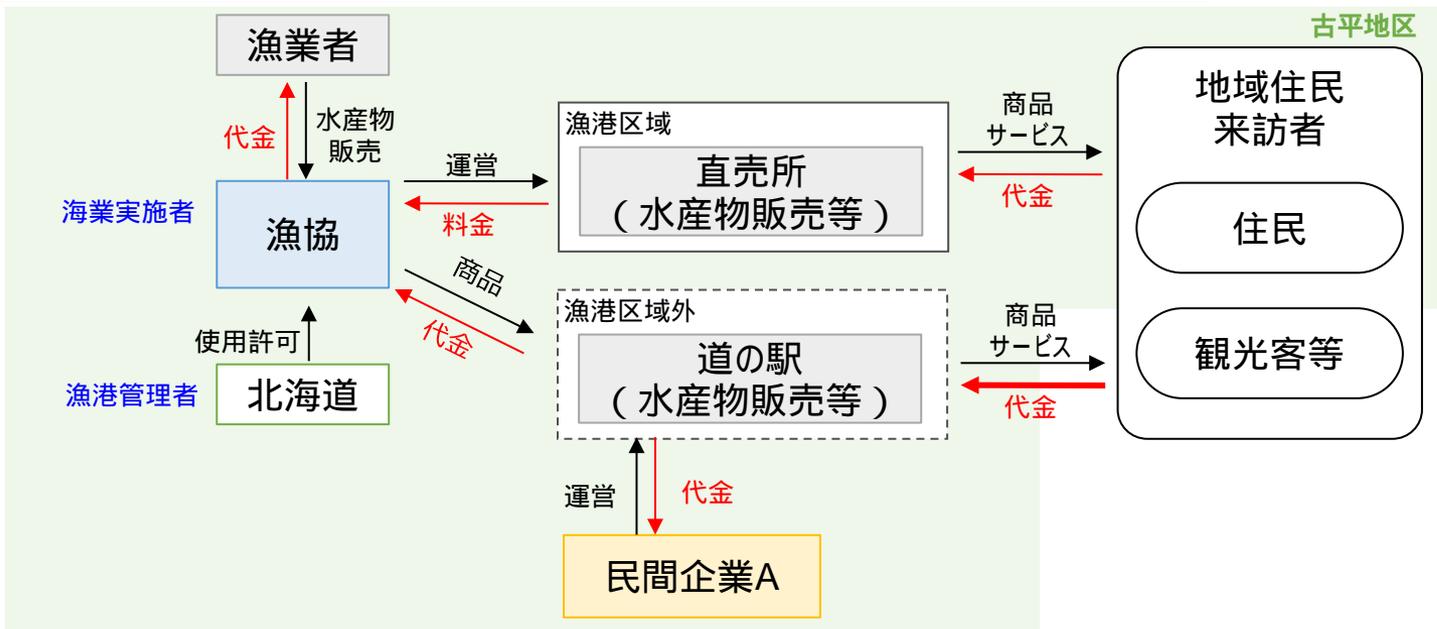
項目	効果
地域人口の維持・増大	・古平地区に賑わいをつくり、雇用の場を創出するなど所得確保を図ることで地域人口維持に貢献
交流人口・関係人口の増大	交流人口として以下を想定する。 ・イベント来場者 年間 約1万人 3,300人/回(漁協祭来場人数) × 3回/年(年3回実施)と想定 ・観光ツアー参加者：年間 50～100人 約20人/回(ツアー参加者) × 3回/年(年3回実施と想定)
水産物消費拡大	・水産物のブランド化・特産品開発による古平産水産物の消費増を期待 ・町内イベントでの特産品PRによる古平産水産物のファン獲得による購入者増を期待
海業消費額の増大	・漁業見学ツアー等による古平産水産物の新たな消費増を期待
海業実施企業の売上増大	・道の駅、イベント等における水産物の販売：990万円 1,000円/人(漁協直売所商品の平均的な単価) × 3,300人/回(漁協祭来場人数) × 3回/年(年3回実施を想定) ・観光ツアー：48万円 8,000円/人(ツアー参加費用) × 20人/回(ツアー参加者) × 3回/年(年3回実施想定)
地域内調達の増大	・道の駅、町内外イベントでの水産物販売、観光プログラム内での飲食等について、地域内水産物を調達
雇用の増大	・教育学習主催者：1人 ・観光プログラム主催者：1人
地域の産業の振興	・交流人口の増加により、地域産業の活性化に繋げていく。
後継者確保	・漁港を核とした教育学習の推進により、地元児童の水産業への理解・愛着を醸成し、将来的な水産業の担い手を育成する。

事業の効果（ロジックモデル）

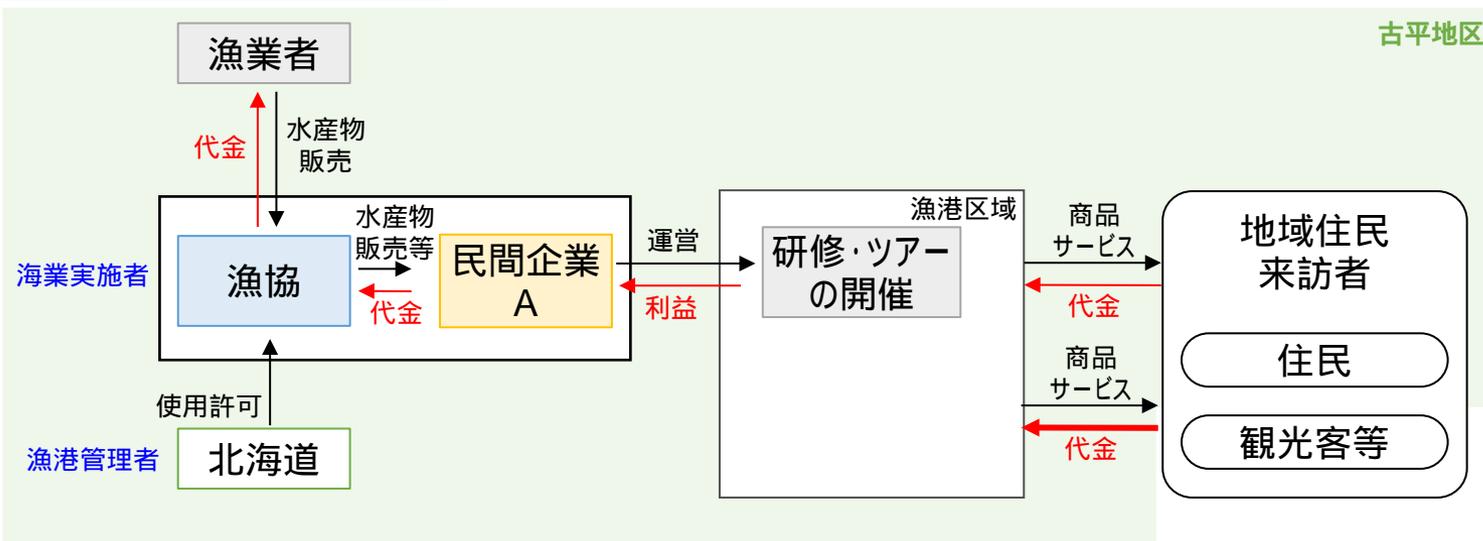


海業の関係主体間の経済関係 (R6時点 想定例)

水産物のブランド化・特産品開発 道の駅、町内外イベントでの水産物販売



教育学習 観光プログラム



海業計画 スケジュール(案)

事業名	事業主体	実現までの実施事項		実施時期											
		実施項目	実施主体	短期					中期					R16~	
				R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15		
水産物のブランド化・特産品開発	東しゃこたん漁業協同組合	ブリのブランド強化	東しゃこたん漁業協同組合												
		特産品開発	東しゃこたん漁業協同組合												
道の駅、町内外イベントでの水産物販売	古平町、東しゃこたん漁業協同組合、古平町商工会、古平町観光協会	道の駅での販売商品の検討	(株)TAISHI		★	道の駅開業予定									
		漁協祭での販売商品の検討	東しゃこたん漁業協同組合												
教育学習	古平町教育委員会、小樽水産高校	ニーズ調査	古平町教育委員会、小樽水産高校												
		研修プログラムの開発	古平町教育委員会、小樽水産高校												
観光プログラム	古平町、東しゃこたん漁業協同組合、古平町商工会、古平町観光協会	ニーズ調査	古平町、東しゃこたん漁業協同組合、古平町商工会、古平町観光協会												
		観光プログラムの開発	古平町、東しゃこたん漁業協同組合、古平町商工会、古平町観光協会												